

大型クラゲの出現状況

(平成 29 年 7 月 24 日現在)

国立研究開発法人水産研究・教育機構及び関係機関が実施した調査によると、東シナ海、黄海、対馬海峡において大型クラゲが確認されており、日本でも対馬、壱岐地先及び島根県、山口県の定置網で出現が確認されています。

- ・ 6 月下旬～7 月中旬にかけて、東シナ海、黄海、対馬海峡において大型クラゲの出現が確認されており、7 月 5 日には長崎県対馬市及び壱岐市の定置網でそれぞれ 1 個体が確認され、7 月 13 日には島根県、7 月 19 日には山口県の定置網でも確認されたとのことです。
- ・ これらの情報によると、出現量は初期の出現が多かった昨年同期に比べかなり少ないものの、東シナ海の移動経路が例年と少し異なっている可能性があります。
- ・ 本県沖への来遊はまだ不明ですが、今後の情報に注意してください。
- ・ 大型クラゲの目撃や入網がありましたら、水産振興センターまでお知らせください。

資料：国立研究開発法人水産研究・教育機構のホームページ
(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/>)

(一社) 漁業情報サービスセンターのホームページ
(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県水産振興センター
資源部 齋藤
電話 0185-27-3003
Fax 0185-27-3004